60・2・23 分 つづき

Ima　city state は同異一重異は自然発生的にこの中に支配者がでてくる。はじめは征服と重複していた。ところがこの route はあまりスジがき通りにいかん。そこで city まで来てそこに barbarian がおそいかかってよい。むしろ日本の場合だったら単層のこういう農耕している。ところへ騎馬民族が来て、あとで都市発達させることがあっただろうけれど、Oの方はこういうように考えた方がよいのでないかと考えている。City state が防衛のため共同作業がある。そこに指導者が考えられてよい。そして誰かお頭をたててということになる。城の中に囲まれたものは一つの共同体である。

Sim　ギリシャやメソポタミアでは征服が云えるかもしれない。

Ima　そしたらそれはよいとして下の方は何故こういう様に発展しなかしたかというのが問題になる。

Sim　木を切って畠を作らんならんというのと違うんやないか。

Ima　それネ。のみこめるような説明がいります ネン。

Sim　この日、スイス人ですけど、アメリカに入ってきた人で、開拓するのにどれだけかかるかというのですけど20年はかかる。技術の発展していない時代では農は Oasis 地帯しかなかったとは云えないんでしょうか。

Tan　人口収容能力違うでしょ。Oなら ~~一度きに~~ いちどきにふやす能力は大きいが上限があるでしょ。密度が高い。

Kaw　小地域の生産力は Oasis の方が高いといえるんでしょうね。

Sim　Fは木を切って作るのに非常に時間がかかる。そのため小領主が manage してひろげていって、人口収容力が増して始めて国家になっていくという。

Kaw　そこをうまく考えると ecology となる。

Iwa　揚子江の流域ではどの位い森林だったんですか。

Kaw　相当森林があったんでしょ。Tucci などの土壌のタイプで見ると、森林と云ってよいタイプがかいてある。

Sim　Europe は全部森と云ってよいでしょうね。

Kaw　Europe は全部森がおおっていた、Danube 河沿いかにかなり空隙地があるけれどね。Danube Rheim に沿って森林の間に空地があったというタイプか、又はもっと北にいってマーシュになる

Iwa　森林でも切りたおせば広い space があり、Oは space に先が見えている。可能性としてあとからあらわれたというより、むしろ先にそのことがわかっていたから開発されたんと違うか。

Sim　そうだと思うんですけどね。技術のあれでないかな。

Huz　鉄器がないと森林の開発ができない。それが案外おそくて、7〜8C頃やないかな。それは以外なほど——。

Tan　Caesar の gallia 戦記で森林をきり入った道がある。そこに Caesar 軍が入っていくと木を道の上に切りたおして入れさせなくする。そういう森林の中にボツボツと耕地があった。

Huz　だから面状に拡がるのはずっとあとのことだ。

Sim　たしか8C頃に Europe で技術の発達があると書いてある。

Huz　鉄は最初、祭の道具、それから剣、それから農具になる、うんとおくれる。

Sim　Europ が本当に開けるのはその頃からだろうし、それで説明できますね。

Kaw　今西サンの疑問は Fがなぜおくれたかというんでしたね。

Huz　Oからはじまったということは生活空間がこじんまりしていて、まわりが砂漠で、むしろ当時としては或る点、保護されて、小天地ができていた訳だ。ところが森林の中に入ってきたらまわりが spirit にみちていた訳だ。

Iwa　小天地の王様というのがもう一つわからんのですが、農耕を Oasis していた。そこに王様がでてきたんですか。

Sim　はじめは軍事指導者でしょ。

Huz　単層同質で state のでてくるとき、酋長がでてくる。この酋長が何故でてくるか、まだわからない。その起源がわからないと、city state や王が何ででてくるかも考えにくい。

Tan　その場合、酋長 tube などの生活を観念的に考えるけれど、当時食料が確保される為の斗争があったのか。

Huz　しいて考えれば、大動物の hunting のとき、hunting band になり統制とらんといかん、それで弓の上手なヤツが head になり、それが王様になったというのなら分らんことはない。

Iwa　そのあとが問題。

Ima　blood と religion と science と何で人間を integrate するか、blood principle の所で各々の totem、先祖神があっても、別々のもの持っていたら一つになれない。city をつくるとき全部を integrate するものが要る。そこに theocratic 必要。Inca の場合、Empire 作るとき、Inca の神を全体に及ぼす。forest では平面でも斜面でも、何か持っていたろう。しかしそれを統合するものがでて来なかったのでないか。

Sim　Europe の場合、キリスト教があるのですけど。

Ima　もうちょっと足らんが、何か救いを求めんと ecology だけで説明できないのと違うか。

Sim　Oasis では木器を作っていても生産がかなりやれる、forest では木を伐り倒して根をおこしてやらねばならん、鉄器の普及がおくれるとしたら重層社会になるのがおくれる。

Huz　Europe でひらけるのは 7〜8C 以后。

Ima　斜面の土地は流亡してやせる。きりかえ畠が必要。rotation せんならん、蓄積できぬ。technology ある思う。

Kaw　Nepal の Katmandu 盆地の3つの都市をみた場合、都市国家的なものをみる。百姓が apart から出勤して出てゆく、何故あんなにかたまらねばならないか。この理由が解らん、もう一つ、住民が都市風で文弱である。いつも Nepal 平原以外の者が、のしかかってくる。都市自体からは隋弱で都市生活を発達させつつ、国家を作る能力に欠ける。

Huz　平面と斜面は別で東南アジアでも住み分け、日本でも耕田さんの話の様に住み分けの様だ。問題は平面がいつひらけたか、で technology の問題がでてくる。

Ima　日本でも技術を農民がとり入れたかもしらん。OとFに住む人間の心理に及ぼす環境のはたらきかけは違うということはないか。Oは一神教的、Fは比較的多神教的。Fは自然が森林であり、自然にとけ込む方。Oは自然と人間が対立し、敵対関係にある。自然とけ込み型は小さい同族集団でそれ以上人を求めぬ。Oは集った人で自然にむかおうとする。

Kyoto University

Oは community にまとまるのを促進するものがありはしないか。上に支配者ができ強制的に寺を建てさせたらなるかもしれないが、自然の中に巣食うてしまっているという場合がありはしないか。

Kaw　それが環境から直接でなく、Fは割拠するのが好きなのだと思う。

Sim　集っても食えないのでないか。

Ima　Fは連続的であり乍ら集らんというのが面白い。feudalizm と関係があるのでないか。feudalism は完結体でなく次の統合への準備段階であると貝塚は云ったが、なかなかそれ以上のびんという inertia があるのと違うか。

Kaw　日本でなんか、あっちの谷、こっちの谷に割拠するのが好きな理由、割拠的な地域のもつ ecological tight があるのでないか。

Ima　これはたがいに割拠でしょ。この原理が尾をひいて日本の自然村でも途中大革命を経ず妥協、妥協で続いているように思う。あるところに開墾して居つくと、収穫が充分でないから Utopia を求めて移住するのでなく、そこに居ついて了う。傾向が非常に日本人には強いのでないか。

Kaw　移民した場合、郷土よりのつながりがきれるが、住んでいる限りは強。地を異にしたら blood は弱いからきれる。

Sim　ユダヤ人なら一番強い。イタリア人もアメリカ移民の送金で食っていた。

Huz　ある場所に定着する傾向強い。加藤君が云っていたがアメリカの2年前の同窓生名簿なんて何も役立たん、と。日本なら役立つ。しょっちゅう動いている訳だ。

Ima　これは social mobility が変い。いくらでも月給の変い所へ動けるのだ。

Kaw　泉氏の話できいたが、北陸 ⟶ 北海道に移民した場合、また南米へ移民した場合、案外早く郷里との縁が切れる。平面に水田をつくり、その肥沃度といい何といい、背後の山との combination で保たれていた。山からあおがりかり込んできて、洪水の防止からみんなしていた。それでジイサンは山へシバかりに。土地自身が非常にユニークな ecological tight を持ち、伝統的、特殊的。

Ima　何故、state へ自発的に進まなかったか、ということに結びつくのか。

Kaw　谷々で個有のまとまりを作ろうとするので幾何学的精神がないと state はでてこない。

Ima　そこまでは君の考えはよくわかるが、実際、日本は state になったでしょ。そのならないそれが何故なったか、という点は。

Kaw　外からの刺戟　それが必ずOから来るのか。大陸支那戦国時代には南海まわりの西洋の技術が入っているから典型的にOのみからと云えないと思う。

Tan　しかし国家の成立ならもっと昔のことにしておいていいのでないか。

Kaw　そうだったらO

Sim　戦国時代には北条とかがの国家があったとしてよいのでないか。

Huz　支那の人口密度調べたら北支が圧倒的に多い、そして四川省に多い。暖温は一様にベタッとしているが密集していない。

Kaw　それは中南支山地多い。北支はベタッとしている。それで変くなるのだ。日本では何かそういう事ありはしないか。柳田氏の云うような山の神が田の神に半年ずつかわるというものね。

Huz　僕は四川省の條件というのは、これはあの辺のターリーからぬけたのが、メナム平原を占領する。それと同じで南支にくると、やはり谷底的になる。斜面はミヨウなどがいる。日本へくると日本でも谷底村の方が主力になる。斜面の方が外に出される。

Kaw　日本の feudalistic に似たものが中南支の山岳地から蠻語にあったのと違うか。

Huz　南、中、北支の順で feudalistic が強いと前の研究会で誰かが云ったが、誰かな。

Ima　Europe でドイツみたいなとこは後、山岳前は森林そういうとこで feudalism は成長した。日本の feudalism は説明できて、ドイツのそれが説明できないのは具合悪い。

Kaw　全く、Europe では Valley Hill combination でなく森林牧場何とかと云う combination が違った意味であったのでないか。

Sim　それは周囲に森林採草地というのがあるか。

Ima　中心と周辺と傾斜のあるとこに feudalism ができる。日本では山がペリフェラルになっている。city state 的なものが北支に成立していてケンジョウの所在地になり local center ができる。そうするとそこに傾斜ができる。なんぼ平原であっても。だから平面でずっとして町も何もないというケチなとこはない。大中心、小中心がどこかあるのだな。

Sim　Fの発展を考えるとき遠きより通商を考えんと無理と思う。

Ima　僕は一種の population 説をもっている。5万位の人間のあつまりと自然村の様にせいぜい100戸集って500人それ以下人口大だと mutant の頻度が多くなる technology の発達にしても個人よりでる。年月をかけるはじめに大人口をもつ方がグングンのびる。そしてバラバラに住んでいる所はずっと沈滞している。一つの人口説はあまり今迄の歴史家は云ってないが云っていいのではないか。

Sim　Child が云っている。

Ima　OからFにいく発展、Fは continuous に生産力を生む場がある。population の蓄積ができる。しかしその population がばらまかれているのでは effect が小。都市ができて集められてくるとその aggregation ができる。東京でもアホなことでも、そうでないことでもギャアと生まれてきとる訳だ。これは味がない説だけれど。

Kaw　Nepal の都市をみていると非常に人工的クサイ、一種のイヤラシイジエオメトリカルだ。近代風と違っても何か人工的なものを感じる。やはり都市国家をつくっていった。そういう人間がいたからそういうものが作られたのだという。

Ima　森林地帯に住んでいたら割合山やらあるところでは人間の artificial にかわるものとして人間の要求を満たす。steppe のようなところだと頼るべきものがないというところで一神教的な必要。ラマ教の寺をつくると遊牧民がひかれる。大道演説をして人を集めて布教するのと違って、ワアッと建物を建てる。これが attraction。遊牧民は財産ができても持って歩けない。そこで寺に預けるということになる。ワシも蒙古の自然に憧れて来たのにラマ教の寺は一番ワシの気に沿わんものと怒っていたところが1ばらくするとラマ教の寺が見えてくるとヤレ安心した気持ちになった。結局 theocratic Empire の大建築は人心収攬術と関係がある。

Kaw　steppe で Freiheit があるが日本には山があるというのは freiheit。

Ima　日本では一すくらい大佛さん建てても、ウシロにシューと山があって、そんなもの値打ちがない。

Kaw　Nepal の様にゴチャゴチャ都市たてていると人間の中におしこめられているという感じがした。

Huz　大阪にいって感じたが、朝日ホールも毎日ホールも出入りしていると京都人と人間が違ってきますね。

Kyoto University

60.2.23　つづき3

Kaw　われわれのは自然埋没的で故郷恋いしくても人でなくて山州恋いしになる。
Tan　irrigationの地域の都市は城壁があって、都市があるだけか、周辺に遊牧民がテントでいるのではないか。
Ima　貝塚にきくの忘れたけれど、中国の5万というのは都市民だけのことですか。県の単位だったら農民は城壁の外にいたのでないか。
Huz　そうです。敵が攻めてきたら城の中に入る。
Sim　春秋までの都市国家の単位が5万でそれが県になったというのでショ。
Ima　その5万が全部都市に入って他は遊牧民しか居ないというのと違って、近くのものは都市の中へ住み、遠いのは5・6軒なり農民のいる地域もいる。
Tan　ギリシャでは城壁の中から農民が朝、門があいたら畠をしにゆく、そしてその外にスキタイの遊牧民がいる、そういう描写がある。
Ima　支那でも農耕地と遊牧民との境に馬賊みたいのがいる。そしてそういう所の都市は城壁があって百姓も商売人もイザという時は守る。ハビルカとかみなそうだ。
Tan　そういう時、都市の遊牧民との関係は。全く無関係なのか、都市国家の王が遊牧民の出であれ何であれ、遊牧民に何かのとき召集をかけたりできるか。
Ima　その点、江上君のははっきりせぬ。主農従牧というのはたくさん例がある。辺境の土地の広いところはみなこれである。取り入れのあと、そこで家畜を飼っている。逆に主牧従農というのは成り立つか。この点疑問。
Kaw　できるでしょう。
Iwa　transhumanceは従牧ですか。
Ima　僕等の知っているヒマラヤ・カラコラム辺のヤツは従牧でショ。山岳地帯のtranshumanceと違い、steppeのmigrationを面的に移動するところでは牧農両立させるには家の分業からせんならん。
Kaw　しかし村から一日範囲のところに馬群がいるというのならやれます。
Huz　そうならオッチャン連中はそこにゆって子供が農をするということになるやないか。
Kaw　現に村人一軒ずつのうちの半分が牧場へゆっている。
Ima　かりにこういうもの、主牧従農があったとしてもsteppeに乗り出すと専牧にならんと成り立たん。農牧の分業のところは家族まえの分業でなく、tribeの分業になっている。梅棹のAfghanなど。あの場合でも牧畜やっているヤツの方がクラスが上である。
Kaw　主牧従農といってもカロリからいうと農の方が大きいと思う。しかしどっちに力をとられているか、というので江上氏の考えがある。
Huz　佛領サハラでも遊牧がエライ。フランス当局は略奪していると思って検挙するそしたらワシは地主だと居なおる。tribe分業なんだ。
Kaw　~~tribe~~ Tibetの場合、それが割れない、専牧と農とならない。割らずに広いethnic groupとして保たれているという。
Ima　そういう形態も成り立たないものではない。しかしもう一つ、牧の立場だけからは発展性がないということが云えるのでないか。発展は農の中から出る。
Sim　そうするとジンギスカンは異る例か。
Kaw　イヤ、牧民が農を征服したら発展できる。
Sim　その前に国家にならなかったのか。
Kaw　国家の段階までいったとしてもstabilityがないのやないか。
Ima　東アフリカのマサイは王国まで進まぬ。それに対してバガンダとか農をおさえたのは王国まで発展している。
Tan　フンの単于などや平民と生活様式は同じか。
Kaw　ラティモアなどになるとあの頃の方がまだ蒙古地域に農耕地があった。元になると地域的分業が進んでspecialigeしたのでないか。tibetなどみなそうで農耕tibet人に依存しなければ成立せぬ遊牧民がある。
Ima　特殊民は王国をつくったことはないだろう。
Iwa　ないでしょ。
Kaw　分布で考えたけど上の依存せんならん所アイスランドなど異例としてラップなどスエーデンなどにかゝえ込まれたものがある。北満の北tungusなど満州族が南tungusでこれがleader shipをつくって清朝をつくる。これが同族としていろんな点で化しているのか、満洲八旗の中に編入させている。アフガンなどでアフガンの場合、プシュトウと農耕やっているのと違う。一方抑圧されている、steppe地域のヤツは政治的に勝ったり、負けたりするけど異民族同志の隷属関係はできない様な気がする。
Ima　しまいにでてくる元はそうだ。
Kaw　それはホカヘ、中にいるときはおこらない。
Ima　同じものだったらsymbiosisが成りたたへん。
社会の発展していくとき2つある。異質と重層　異質は農と工商が分離しつゝ交換で結ばれている。そして2つに分れてもsymbiolicであるとする。もう一つは支配者 農民これも分業だけで、こっちの関係は支配服従の関係、これは吸いとって支配者になる。その代りに保護するというsymbioticな関係がある。それを何かい云葉で表現できないか。パラシティクと云うのは乞食みたいのがでてきたらそうだが　ある捕食している動物と捕食される動物がある。これも人間関係を説明するのに具合がわるい。もう一つpastoralism、こっちが他を飼って生活している、そして羊がやたらによそにとられたらいかんし、保護するという。初めの征服国家はこういう面が強い。このpastoralismは今日のstateではなくなった訳である。説明していくときどういう風に云うかの問題やな。これは子供だましみたいだけどecologyのprincipleで貫ぬこうというときこの関係はとりあげんならん。都市より進むというときsymbiotic communityの方が先行してそれが発展してこういう風になったと考えられる。areaからいうとそのsymbiosisを支える農耕地を中心の商業などのcenterこのsymbiosisの一単位都市国家みたいなものを考える。
Kaw　symbiosisの場合紫密なものの他に都市間の物資のやりとりもある訳ですね。
Ima　それは隊商路にのったら遠隔の商がおこる訳だが今日は世界中のstateがsymbiotic　という訳や。編成の場合、はじめは一方的だが、のちに双務的協定にかわるというもの。
Kaw　植民地の場合、財政面では赤字でも他の面でうんと利益している。財政面だけなら逆に ――――
Ima　そこ、細い計算してるんやる。つぎ込まんようにして搾取つづけようとするずるい考えをもっている。しかし英国が強い間はそれでいけるけどもうそうでなくなっている。

Kyoto University

60.2.23 つづき4

Ima　山村というものにはgrdientがある。このことは口家編成のときにも云えると思う。辺境口家は山村みたいで、中央の都市と同等のところまであがれへん。そうやから世界がかりに1blockになっても中央と辺境口とりgradientは避けられない。gradientがあれば忠誠というやはり強いもの、物買ってもらうところへは少くらいお~~世辞~~上手せんならん。ということは仕方ないな。やっぱり買ってもらはなくえんところに、お上手の一つなと云はんならん。

Tan　どっか中心がないといかん訳です。

Shim　アメリカの南北戦争あとのところで、西部と南部は東北部の植民地やったという見方をする人もあります。

Ima　南部にそんなこというたらおこりよるやろな

Shim　南部だって植民地扱いにされていると思っているんですよ。南北戦争のとき南部をどう扱うかで議論があるんですけど、植民地にしてしまえという意見があって、結局それは通りませんけど

Ima　しかし実際南部いうのは中心とちがいますな

Shim　20世紀に入ってから南部に新しい中心がで来たけど根本は北部。ソヴィエトの小共和国あれはどうなっているのでしょう。

Kaw　そういうことがわれわれには解らないんですね

Ima　飛行機にしても会社の中心は北部で南部行きというのがある。あれはいはば下りですな。

Shim　その中心の移動はわりにはっきりたどれる

Kaw　日本で農村は都市生活に困ったとき経済の必要性ということでやらねっぱなしで、失業救済対策の若干でほったらかされて来た。都市が困って、農村が相対的によくなったときには、都市は困った助けてくれと一言も云わずに、国民のためにと称して農民に供出させた。あれはけしからん、ヤミやったやつがおらなんだらあの戦後の時期はとうてい救えなかった。前の條件と同じですよ。供出してやる理由はなにもないと思った奴は多いと思う。それが片方の採取でないというのなか。以前農村が困ったときに都市民が国民のためにと称して、都市の生産物を農村のために供出してくれたら、公平というものです。ところが事実は一方的。

Shim　しかしそれはindustrializationが進行して来たらもうしようがないでしょう。

Kaw　僕は不正義だと思う。

Shim　それについては価格支持政策をとらねばならんと思う。

Kaw　都市民が農村へ散らばったらええと思う。たのみますから喰わして下さいと。

Ima　戦後これほど米価政策やったら不義理は返した様なもんやで。

Waz　特別会計でこれほど税金をつぎこんだったら結構やで。

Ima　それはまあ人間の身体でときどきどこかおかしくても、また生きかえって元気な時が長かったらええ訳や。

Kaw　それはええ訳ですよ。しかし都市が農村に頼みますとけんじょうの美徳で行くのならまあええけど、まるでヤミをしたのを罪悪人のようにいうのやしな。

Ima　しかし供出米では足らなくだんでたのみますたのみますいうて、たのみにいったしそれでええわ。一人一人の人間はどれだけ頼みにいったかわからん。~~北支は今~~
北支は今でも中共の首府がおいてあるけどあれは人口の問題があるんやろな。

Fuj　あるでしょうな。僕には分らんな。なんで南京にならんのかが

Ima　日本は東京に移ったいうけど、ほんまは天皇が移ったいうて、capitalとしては徳川時代から江戸というていた訳でしょ。

Waz.　ところでパラシティックというところ、ええ言葉ありませんな。

Ima　そのところは岩田君の担当で考えといて下さい。

Kaw　分類と分布ですが、具体的にとりあげる國家の分布どんなのをとりあげたらいい例になるんでしょうね。一番北の何も國家ができないところは書かなくてよいのか。そして南のつねにdependentになるところは~~そうで~~dependentだということをかいておくのでよいか。何かあそこについてこういう材料をというものがありませんか。非常にええところまでいったが國家が出来なんだとかね

Ima　あれはagricultureがで来んのでsurplusが出んだろう

Kaw　次のEuropeのところですが、greenのFね。ここはようけ國家があって古い時代からどういうものをあげたらよいのか、と思うんですけど、僕はその中でscandinaviaやSwedenあたりが出てほしい

Ima　スウーデンの歴史はそうありませんぜ。

Shim　どういう理由でスエーデンを。

Kaw　なぜかというと一番南から政治的impulseの入った深さ、Britain France germanあたりまで入っては東のnomadsのimpulseがロシアの森林にはばかっと入っている。純粋にあすこのFのところで外の刺激のないところはSweden Denmark それと英国ともう一つFzoneダンシュとして満州がある。勃海、遼、金それから支那に攻めこむまでの清の満州族。西との比較で金がいい材料になるか、そういうものが入るかどうかという点

Ima　あれはこの前問題になったもので東のOが拡がり南のgreenに根を下して國をかためて支那としての統一性を持続した。そこでなぜあのライト・グリーンがヨーロッパと同様に発展しないかについて、あの地域が発展する地盤がない。まっと云ければという説がある。満州に漢民族が入ったのは新しい。ずっと満州は塞外地だった。むしろ満州族が~~入~~中國に入って清朝をつくる。

Kaw　これについてはヨーロッパと一緒にあつかうと面白い。

Ima　梅棹は軸をゆがめるやろ。この図でゆくと日本でなく~~Eu~~ヨーロッパに似ったのは満州に

Kyoto University

ならなければならん。気候でゆくと満州東岸気候．ヨーロッパ＝西岸気候．そして日本が
分が満州は悪い．

Kaw　この東岸気候がなぜ國家構造に論理的につながるのか．満州族どもあれは clan system やった．それがヨーロッパにもあったであろうが，もうなくなっている。永続度のちがいということになる。発展段階と関係がありますが．今西さんのいわれる様はまだ blood principle が國家形成者の中にあった。これが西とちがうステージの遅れの ~~evide~~ evidence に使えるかどうか．

Ima　満州の旗の編成もかなりそれと関係ありませんか．clan，tribe とつながったね．

Kaw　なにかしかし黒竜江沿岸に gorido という漁業で生活する後進民族がいたりするでしょ

Ima　そういうことはヨーロッパにはない．

Kaw　ない　ジプシーが点とったり……(?)

Ima　これは地域の狭さだけでそこがいたな

Shim　中央のオアシス地帯との交流というのが入ってくるのやないか．

Ima　國としてなら満州より朝鮮のすがらやくとしている

Tan　ヨーロッパの海岸沿いには商業路線がある 満州にはそういう商業路線というのがあったのですか．

Ima　海が冬凍結してしまうしいかくのか．

Kaw　それはやっぱり．遼河の水源と冬いてついてから馬車しかない。交通路線の輸送能力と関係あるしかしそれなら松花江あたりに別のセンターができんのかということになる．なぜあそこは寒い真空地帯なのだろう．

Ima　technology のすから冬に土が凍結して作物があかんのなら ~~今~~ 今でもあかんはずだ．~~ところ~~ ところがそうでない

Kaw　人生ついに不可解．

Shim　満州の気候とヨーロッパの気候と，満州の方がずっと厳しいんでしょ

Ima　そりゃ厳しい．まえね梅棹はこんな説をだしよった．~~漢民族~~ ロシア人は寒さへの適応力があったけど漢民族にはそれがなかった．
生理的うんぬんでなく生活技術がロシア人なんかは備わっているイモがいてつかんだり地下室にこしらえてうまいこと長期貯蔵方法を知っている．もっと大きいのは農業技術のシステム
今日のテクノロジイをもってすると極東ロシアは独立口として独立できるということをいうても九州が面白いものとなかなかすな。綿糸論のところ．くかしくの ~~やはが~~ やはがいいな。つまりねヒツルマをバーバリズムやったかもしれんが 先が末広がりに拡がってます．ところがこっちは北東の北支で北はつまるのでなしに万里の長城でふさいでおり 飛び地みたいに満州がある。これも東狄の地だ．これ西洋史はよう知らんが，ローマの influence が北へ末広がりに広がる。支那は北へ拡がるのに抵抗があったと考えてくれへんか．

Tan　~~ヨーロッパは~~ 南発するのに森林はヨーロッパ以外にない 中國は満州もそうだけれども，南もある．こっちの方がまえというところがなかったか

Kaw　そういう地形もあるかもしらん．

Ima　すると梅棹が ~~wet~~ 対称というのがごりおしでもあてはまるんや　(1/2)
ヨーロッパは南やったらサハラで沙漠やる．

Tan　日本は，もう少し支那が大きくてくっついて南へ拡がっていたらヨーロッパみたいになっている

Ima　乾燥地帯が東西に走らずに斜めに走っているところから説きおこす．これは巧妙な説明

Kaw　南欧から北欧へ Christianity が入る．ところが東でチャイニーズはそれを放出しない むしろそれはインドから入った仏教がチベット，モンゴル満州へ流れない．清朝の支配者であったところはうまく敵 sympathetic

Ima　日本へ入った仏教は奈良朝やる．支那を由で入った奈良朝の仏教は中國で像法やった．

Kaw　仏教がどんどん入ったというが元の時チベットからラマが入ったのでないかしらん．シャーマニズム地域はラマをスムーストに受け入れたのでないか

Ima　支那ではなぜ〝仏教がその後おころえたのか．

Kaw　盛んなのは北魏隋の時ですね

Tan　とくに宋で

Shim　いや唐でおころえる

Ima　支那の仕事として　支那の統一やね 満族がどこから出て来たかということやけどある程度　の時代は中支那に入っていてでしょ．現住民と混っていおといまいてその統一に向ごき中心は南にむかうのとちがうか．力が余ったら北の満州や mongol にむかうけどね，中が分裂したらその統一に向かうんならん。

Iwa　満州はウラル・アルタイですか，中國の場合南との関連が深い

Ima　興見城にきいて周の首都はどっちかわからんていうことやったな　一番はじめ西から入ってくる．西から入ったのをうまくほしたのが周か．

Tan　西から入って滅した．

Shim　殷と周は一緒で殷と夏がちがうんではないですか，

Ima　シナントロプスの子孫なんてそばんでええと思うが．文明の発生地が東へ拡まって，新疆あたり目の青いのがいますが；そういうのが支那へ入って来て拡がったというのでは人種か無理があると思う。多変じゃないが入ってね アジアの中で文明のはずれたところに irrigation のこ

Kyoto University

60. 2. 23 つづき 6.

ない 農耕が北から 突端は ——→ 黄河にいて 西からの文化をとり入れるのやなかって思う。

Iwa　殷なんて西の方からの関連なしては考えられない
Shim　そうですね 甲骨文献は南からなし 錦は南からしか出ない
Fuj　交易はあったということや
Ima　日本でも同じことがあるけど東亜沿いのコースがありまっせ
Shim　北の中央アジアからのはもっと古いのとちがいますか インディアンでも5万年位前に入ったんでしょ
そやから文明の発生するころ世界全体も人間がおった
Ima　そやねん その時青い眼がどの位まで入っていたかということでは 東の方で
Kaw　ヘルマンのTibetのことかいてあるのは東Tibetのことかな 顔立ちがEuropeanにイスルクとり」とかいてあった。中央アジアのトルコ系統あれはどうですか そういうくさいの
Ima　パントウまで行ったらいよる
どうも黄河で土着文化とより高いのとがぶつかり そのはね返りで南へ
Shim　スキタイいうのはあれは何人ですか
Kaw　どうですかね warm temperate forestは日本以外だと四川 雲南，南詔が入るか
越の國とかあったんではうがね
Fuj　越の國いうたらこの辺やで ここもいぶ高いで
Ima　話が混線するけど warm temp の雲南貴州が東亜の fauna flora の宝庫でね，あそこに命の center があり，あそこから拡がった という
Fuj　Sauer の絵 なんか見事で，全部ここから矢印がついてある
Ima　遺伝学者はあそこにね 特殊な radio activity がかたまったんやないかとそっとった
Iwa　クレトナーでしたか 文通路ということを強調している南詔
Ima　空から降ってくるんやなくて 地べたの中からそういうものがかき出てくることはないか
Waz　それはあるでしょ
Kaw　南朝鮮はその中に入るんであるけど。Tropical と steppe の間のしかも乾燥地帯
ミカーロマ・ビザンタン・オスマントルコ・ペルシャ・カリフェイト・ムガール 入るんやないか。これは地中海をかこむためやけど イラン・アラビアを含めたのを一つの地域にみようというのでなかったのか ますますエジプト・インド・西アフリカ国家トカデ
Ima　エジプトはどの位続いたか 千年位はつづいたのか 1st 地域は制御しきれない 2nd 地域はアジアの嵐でかきちらすしあかんのやというけど そうしよう やう気であるのかな
日本なかで戦争したら富は蓄積出来んな スエーデンなくかも戦争に参加せなくてしそこにしてると思はへんか
Shim　F型國家には発展の限度がありせいぜい industrial revolution まで 本当の industrialized society がアメリカでそれが Europe へ逆流して入っていって Europe で indust. society が出来るのではないか アメリカが大量生産方式を発明しそれをロシアがとり入れた，Europe ではドイツ，イタリア イギリスがとり入れ，フランスはあまり成功していないというのが現状ではないか
Ima　日本はそれをとり入れつつあるという訳ですな
Shim　今やっている訳ですね F型の純粋な発展で ずっとゆくと Sweden みたいなところにきついてしまう。完全に農を捨てきれないという。
Ima　アメリカ式の industry と右へならえしているが それをまねているのはみなF型
Umesao 説では党が吹いてみんなのそまれ Fでは党が吹かなくてとそうくやる。日本で戦国時代あるし Europe でもナポレオンはあばれているしそやし相対的なもんやないからもっと相対的なもんで，乾燥地が伸びられなんた條件として 耕地面積限界，population の豆腐うちというのがないか
Tan　そのときイスラムなどの場合が説明つかない
Ima　それでインドやけど 吉良の地図について中尾はここられでとそういきよったんや
Fuj　それは訂正した。ムそれにタライのところへ
Kaw　もう一つ乾燥地限界 B3 を考えると西パキスタンとインドの境いまでゆく
Ima　いかん
Kaw　いく
Fuj　いかつくよ これは極乾燥でかっているのやないしな
Kaw　基準のとり方やな，インドは transitional でないんですよ
Ima　パキスタンは0や モヘンジョダロは砂漠 ラホール・西パキーの穀倉というが，いたるところ用水路がある。日本が irrigation やなくてというのははずかしいもので，あっちのほうこっちへんや
Kaw　パキスタン完全灌漑型，インド英國が溜池灌漑のために使ったものは大きい
Fuj　水田というと真中まで水がるが ばらめをりがよるにしても 根はよらぬ
Ima　あのおとり tropical がどこまで伸びるか，
Kaw　0地域でどういうのを扱ったらいいでしょう。支那をおとしたらいかんでしょ、それ以外で。
Fuj　エチオピヤなんかでうか，
Kaw　アフガン帝国なんか手頃やないか
Fuj　大胡國なくかわかるやろ
Kaw　右の帝國家はその中に入るけど，
Shim　ペルシヤなんかどうですか，

Kyoto University

60' 2·23 つづき7.

Kaw　ペルシャは古代から近代までか、ロシアは回教が入ってきよるしな
Ima　ここでは O型の抽象的な character をあげ、これ一番 ぴったり あうのはこれ、それ
ほどあわぬのがこれという風にしたらよい
Fuj　~~Ecol~~ ecology で下史とちがうんやしそうやろ
Ima　center と peripheral のちがいをとかをかいて withfogel をおれ
改善の気でやったらええ、
Tan　Steppe ではなにをする気か、元か、
Kaw　フン・スキタイ、チベット族古、これもどれということなしでええんやな、
Tan　ウイグルは
Kaw　あれはすし南か
Tan　これは P の都さんの本がある
Ima　さっきの議論の修訂になるが、サハラ沙漠は帯と常口化したのがありますか
Iwa　それはなんぐではないですか、
Ima　あれは海（サバクの）がごっつすぎるのか、僕はあそこに Oasis があっても小さすぎるのだと思う
Fuj　Oasis が離れすぎてたんとちがいますかサハラ沙漠では、
Ima　隊商路があったけど隊商が水をのむだけというのとそこに住みつけるのとで大分ちがう
Kaw　回教帝國で一番勢力を拡げたのはサハラのとこまで、
Iwa　西南地中海までゆく、また南は sudan までゆく、
Ima　あれねじわじわと水のまわる如くいくのか征服するのか、アジアの場合天山南路やオアシスを
ききたいったら之のものがあるということがあったのにちがいない、サハラは地中海そいは北~~アフ~~
岸はイベリアがあるけど南にはそういうものがないしな、
Waz　岩田さんの話では南には物があったんでしょ、
Iwa　金とかね、
Ima　ヨーロッパ人の侵略まで アフリカはアジアの国の 地中海沿岸を除いたサハラ より南 ならなかが何故か、
Kaw　tropical rain forest で面白そうやからーす……、
Ima　タイがあります、monsoon forest やけどあれはいうたら純粋の tropical forest が
を開拓しやすい、また周囲が、山や密林でかこまれているので、エチオピヤや日本みたいに
安全性が得られたということはないか、
Fuj　下史からいうと テオがビルマへ入り ナンタヤオカーチエンマイ王国をつくりメナム中原に入りそして、
越はこう流れ全部タテ。テオのとったのも最初カオン高原を基点を燥したないところ。生態学的にいうとみなちゃんとした道筋がある。
Ima　rain forest でええ考えが浮ばんが、人間の力より再生力つよい自然、そして micro-organism の害と~~ヤ~~おものが抑圧されているのとちがうか、ちゃんと~~は~~ high population を收容できるが、これまでの技術では開墾出来んということやろ、ジャバなど~~ヤ~~しひらけてくると相当数の人口が收容できる~~と思う~~ている、
Kaw　ジャワは半分位 A.F.とちがう、
ホナペもハワイの國家さえ、rain forest できなかったのか！　ポナペ・ハワイは高れて~~い~~るので、
microorgnism の害より守られている、
Shim　ジャバはできていい　そしてスマトラも
Ima　トンガはなにをくうとる
Fuj　コロカシヤ、里芋です、
Ima　トンガとかハワイは征服王朝とちがうやろ
Fuj　トンガは征服かも知れません、
Iwa　ニュジラードのマオリは王はどこから移住して来た、ハワイは王といっても ruling
class は一家族位で少いのとちがいますか、
コンゴなどみな国家という名を冠っている、併し西アフリカの方ーほんとに A·F のとこにあるのでな…か、
Ima　そこの決め手がほしい King という名れこまかされたのなら、わしのいったカメルーンのーまん
ばあい、このまん King が3人いるとかいいよる、
Kaw　エチオピヤは A F とちがう、どこかで少し変した方がよい、
Ima　O型國家の中
Kaw　A F にはばりっていたのはあらへくということですな　不思議なこっちゃ、台湾でも、鄭成
功しかない
Ima　A F 季候で ハンチントンの説によく ecology の立場で 料理せんといかん
のやけどな、まるん熱帯季候の下で 人間はこまあれ ゆけんやろか
Iwa　土地の生産力はもかれのですが、セエール・フールの コンゴの本だと、何いという
ように受口のセースの地帯と同じおだという、
Ima　古良あたりが、くわしく生産量を計ってやっている、

Kyoto University